

2014年度次世代ワークショップ

# 「アフリカにおける障害と開発」

主催：JETROアジア経済研究所

## ◆ 背景

- 近年、「障害と開発」に関する研究が国際的にも広がりを見せています。
- 本テーマでは、障害を医学的かつ伝統的な障害概念の中に制限せず、むしろ、社会的な障害なども含め、途上国の社会環境の中でよりバリアを経験しているHIV/AIDSやハンセン氏病といった人たちや慢性病も視野に入れて考えます。

## ◆ 目的

- 開発研究・地域研究の中でも関心の高まっているアフリカをフィールドにした『障害と開発』の研究を促進。
- 途上国の障害について、従来の障害観にとらわれない若手研究者の発表機会の創出と研究者同士のネットワーク化の促進。

## ◆ 内容

- アフリカの人々の地域社会との関わりやそこで直面するバリアについて
- 先進国における同様の障害を持つ人々とのポジティブ、ネガティブ双方の面から見た違い
- 政策的インプリケーション（こうした人々を念頭に置かない貧困削減政策や開発政策の限界の問題に関する指摘など）等

## ◆ 発表者

- 「ザンビアにおけるハンセン病者の生活と社会関係の再構築」姜明江（京都大学フリカ地域研究資料センター研究員）
  - ポスト植民地期のザンビア農村部で暮らすハンセン病者の経験から、アフリカの病者を支える社会関係について考察

日時：2014年10月31日（金）15：00～16：30 場  
所：アジア経済研究所 日本手話通訳付き

企画責任者：森 壮也（JETROアジア経済研究所開発研究センター主任調査研究員）